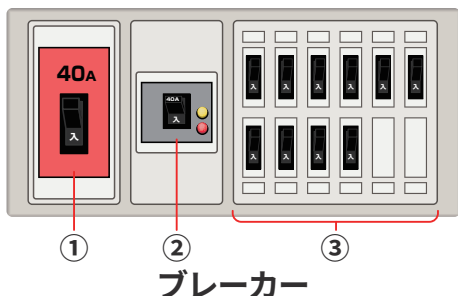




# ブレーカーが落ちる！ 漏電の恐れにご注意を

突然落ちるブレーカー。夜中は周囲も暗く、ブレーカーにたどり着くまでにぶついたり、位置が判らなかつたりもします。どんな問題が電気回路に発生しているのでしょうか。また 頻繁に落ちることはありませんか？

## そもそもブレーカーってなんなのでしょう？

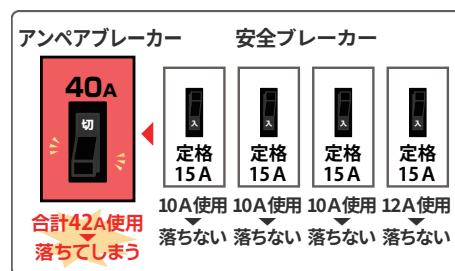
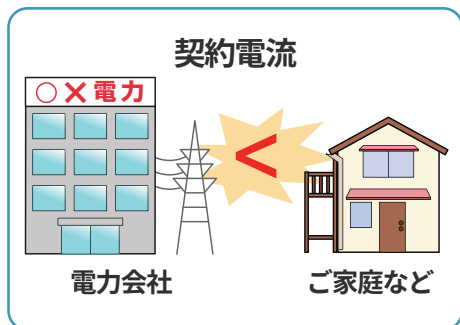


ご家庭でも事務所でも電力会社から電気の供給を受ける場合、必ずブレーカーというものが設置されています。ブレーカーとは、ご家庭や事務所内で発生した電氣的不具合を早期に遮断してくれる安全装置で、目的の違いで① アンペアブレーカー、② 漏電ブレーカー（漏電遮断器）、③ 安全ブレーカー（配線用遮断器）の3種類が組み合わさっています。それぞれの遮断する電氣的不具合は以下で解説します。

### ① アンペアブレーカーの役割と落ちる原因、その対策

使用電流（単位：アンペア）が電力会社との契約値を超えたときに電気の供給を自動で止める装置です。

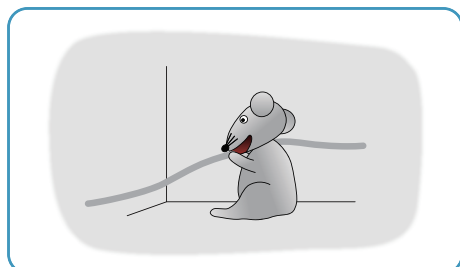
アンペアブレーカーが落ちる原因は「電力会社との使用電流契約値」を超している場合の遮断です。万が一の大電流発生時にも電気の供給を自動で止めてくれるため、ほかの2種同様「許容電流量オーバー」の保護に相当し保安用のブレーカーと見られる場合もありますが、本来の目的は「電力会社との使用電流契約値」の管理になります。このアンペアブレーカーが落ちる場合は、右図のような状況が考えられます。このブレーカーが頻繁に落ちる場合は、電気の使用度合いを調整するか、電力会社との契約を見直しましょう。



### ② 漏電ブレーカー（漏電遮断器）の役割と落ちる原因、その対策

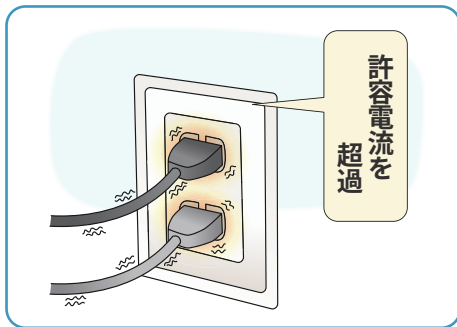
電気配線に漏電が見受けられたときに電気の供給を自動で止める装置です。（テストボタン付き）

電気配線は絶縁部材（電気を通さないビニールやゴム、プラスチック部）の劣化、水や塩害、ネズミ等がかじり電気が漏れ出す「漏電」が起こります。穴が開いたホースと考えると解りやすいでしょう。ネズミが電線を「ショート（短絡）」させることもあります。漏電時に電気配線に触れると、感電や火傷など命に関わる事故にもつながります。付近に可燃物があれば火災が起きることもあります。漏電ブレーカーはこのような事故を防ぐとても重要な保安装置です。漏電ブレーカーが一度でも作動した場合は、速やかに電気工事店やリフォーム店に相談して不良箇所の改修を行いましょ。なお電気は目に見えず危険要素が判断しにくいいため、ご自身で調査や改修をすることはぜひたいにお止めください。



### ③ 安全ブレーカー（配線用遮断器）の役割と落ちる原因、その対策

電気機器の使用電力の合計が配線の規定値を超えたときに配線（回路）単位で電気の供給を自動で止める装置です。



安全ブレーカーが落ちる殆どの原因は「許容電流量オーバー」です。まれに接続した電気機器内部の故障で「電気配線のショート」が起きる場合もありますが、通常は先に機器内部の保護回路が働き装置が停止します。家庭内のコンセントは100V 15Aまで\*1（＝消費電力1,500Wまで）が規準ですが、**同一配線に接続する電気機器の消費電力が合計1,500Wまで**ということです。この合計が1,500Wを超した場合、安全ブレーカーが作動し電気の供給を停止します。安全ブレーカーが落ちる場合はその配線につながっている消費電力の大きな電気製品を特定\*2し、外して（別の配線のコンセントにつなぎ替えて）様子を見てください。それでも安全ブレーカーが落ちる場合は、この確認を繰り返します。

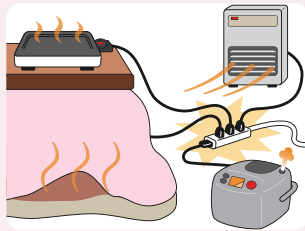
\*1エアコン用途など特殊配線は除きます。\*2電気機器のスペックラベルで確認しましょう。

## 各ブレーカーが動作しない（しにくい）危険な使用状態について

最も重要なポイントである「**各ブレーカーが動作しない（動作しにくい）危険な使用状態**」を紹介します。

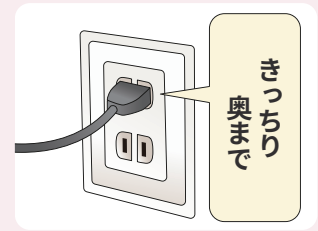
#### ① 延長コード、たこ足配線は避ける

電気機器をたくさんつないだ延長コード（通称たこ足配線）は、知らずのうちに絶縁部品が劣化し、電氣的接点の周囲やコードに熱が生じ、樹脂部分の焦げや、最悪時は出火を引き起こします。高消費電力の電気機器はとくに現れる可能性が高くなります。



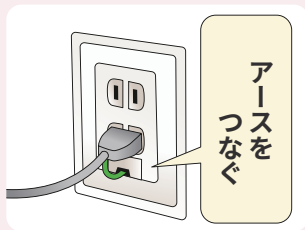
#### ② 高消費電力機器は壁のコンセントに接続

高消費電力の機器（電子レンジや電気ヒーターなど）は、必ず壁のコンセントから直に電源を取ります。延長コードを使うと壁や延長コードのコンセントや電気機器の電源プラグに熱が生じ、樹脂部分が焦げたり、最悪時は出火を引き起こしたりします。



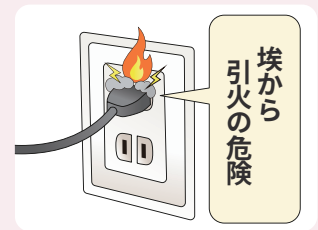
#### ③ アースを伴う電気機器はアース線をつなぐ

洗濯機や衣類乾燥機、電子レンジなどアース（接地）を推奨している機器は、コンセントは壁から直に取り、アース線もつなぎましょう。万一の感電が予想される事故を未然に防ぐことができます。（漏電や不良箇所により、防げない事故もあります）



#### ④ コンセントを清潔にして火災を予防

漏電とは違いますが、コンセントプラグに埃が溜まると、通電時に発生する火花が着火する「トラッキング現象」を起こすことがあります。コンセントは定期的に掃除をし、使用した洗浄剤や水分はから拭きし、完全に乾かしてから使用しましょう。



常時延長コードを使用している場合は、安全のため**壁のコンセントを増設するなどのご対応**を検討してください。

この内容を含む様々なお家の問題を取り上げた「トラブル解消特集」を当社のWebサイトで公開しています。ぜひご活用ください。

●お気軽にお問い合わせください



## 【保存版】お家の健康診断（マイチェックシート）

※太文字は放置すると家屋倒壊や火災につながる危険な項目です。屋根や天井裏などの高所点検は無理をせず、点検業者にお任せください。

診断箇所	確認したいこと	○△×	被害や今後の予測
外壁	隙間や浮き		家が傾き、強度不足となる恐れがある。
	ヒビや損傷		壁内部へ水が侵入し、腐食の恐れがある。
	汚れやカビなど		雨漏りの結果、壁内部が腐食している。
屋根	雨漏り		天井、壁内、室内の木材が腐食し、老朽化を早める。
	老朽化		雨漏りや家の強度不足につながる、災害に耐えられなくなる。
	雨どい(割れや外れ)		強風で飛ばされる、家屋に雨水が侵入する恐れがある。
基礎	軒裏の状況		傷みがあると雨漏りの恐れがある。
	基礎ヒビ・壊れ		家屋の傾きや倒壊の危険につながる。
ドア	通気口の点検		床下の通気が悪いと湿気で腐食やカビの原因となり、シロアリが発生する。
	建具のきしみ・がたつき・すきま		雨水や外気が侵入し、害虫被害などにもつながる。
窓	サッシの結露		断熱効果の低下が故であり、結露の水分で窓枠や床材の腐食が生じる。
	サッシのパッキンの老朽化		室内に雨水が浸入し、窓枠や床材に腐食が生じる。
玄関 廊下 階段 など	網戸の破れ・がたつき		害虫の侵入を許してしまう。
	床板の具合		床下部のフカフカや損傷がある場合は腐食している恐れがある。
キッチン まわり	壁面や天井の汚れ・損傷		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
	照明・スイッチの具合		点灯具合の悪化や旧型器具の場合は漏電などの危険がある。
キッチン まわり	手すりのがたつき		ガタつきから手すりが外れると体が支えられず、転倒や転落の恐れがある。
	玄関タイルの状況		割れや目地の損傷は躓くことや転倒する恐れがある。
キッチン まわり	壁面やタイル等の損傷		損傷部から壁内へ水が漏れ出し、周辺に腐食やカビをもたらす。
	壁面やタイル等の汚れ		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
キッチン まわり	キッチン収納の不具合		ゆるみやガタつきが進むと収納具が外れ落下し、怪我や損傷につながる。
	蛇口やハンドルの具合		ゆるみやガタつきから水漏れし、周辺に腐食やカビをもたらす。
キッチン まわり	コンロまわりの具合		ガス栓のゆるみやガス配管の劣化は火災の危険がある。
	換気扇		異常動作は換気不足となり一酸化炭素中毒の恐れがある。
トイレ まわり	壁面の損傷		外気が侵入し臭気が排出されず、居室内全体にも拡散する恐れがある
	壁面の汚れ		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
トイレ まわり	使用年数の確認		配管からの水漏れは床材を腐敗させる。電気系統の不具合は漏電の恐れがある。
	照明器具の点検		暗所の照度不足は器具交換を。人感センサー付き照明なら消し忘れも防げる。
トイレ まわり	換気扇・換気口		臭気が排出されず、居室内全体にも拡散する恐れがある。
	床面の状況		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
お風呂 洗面所	壁面やタイル等の損傷		損傷部から壁内へ水が漏れ出し、周辺に腐食やカビをもたらす。
	壁面やタイル等の汚れ		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
お風呂 洗面所	換気扇		湿気が排出されず、居室内の湿気が多くなりカビや結露などの発生につながる。
	水栓器具の点検		水漏れなどはカビや腐食などをもたらす恐れがある。
お風呂 洗面所	洗面部の損傷		下部などへの水が漏れ、カビや腐食などをもたらす恐れがある。
	照明器具の点検		暗所の照度不足は器具交換を。人感センサー付き照明なら消し忘れも防げる。
お風呂 洗面所	洗濯機パンの水漏れ		床や基礎部などが腐食する恐れがある。
	床板の具合		床下部のフカフカや損傷がある場合は腐食している恐れがある。
各室内 共通	壁面や天井の汚れ・損傷		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
	収納ドアなどの具合		ゆるみやガタつきが進むとドアが外れ落下し、怪我や損傷につながる。
各室内 共通	照明器具の点検		点灯具合の悪化や旧型器具の場合は漏電などの危険がある。
	電源コンセントの不足		たこ足配線は漏電の恐れがあるため、コンセント個所数を見直したい。
各室内 共通	電源コンセントの緩み・ガタつき		漏電やショートなどの恐れがある。
	天井 点検口		前回調査から10年を超えていたり、天井が染みていたりする場合は点検したい。
天井 点検口	雨漏りの点検		異音や異常、天井に染みがある場合などは点検したい。
	虫害・獣害の点検		
電気設備	ブレーカーが頻繁に落ちる		電気配線の見直しを図り、回避したい。
	大型家電を導入した		電気設備に大きな負荷がかかる場合があり、専用配線の設置を検討したい。
ベランダ バルコニー	防水の点検		腐食や劣化などがあると雨漏りにつながる恐れがある。
	テラスルーフなど		がたつきや腐食などがあると雨漏りにつながる恐れがある。
外構	フェンス・カーポート・物置など		がたつきや腐食などがあると雨漏りや倒壊の恐れがある。

●お家の気になること、ご相談ください



当店のWebサイトで様々なお家の「トラブル解消特集」を公開しています

☎ 0120-682-777 (9:00~20:00・土日祝も営業)

〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間2079-1

✉ info@saihome.jp 🌐 https://saihome.jp/

建設業許可番号 神奈川県知事許可(般-4)第83905号 / 一級建築士事務所 神奈川県知事登録第18399号



禁無断転載